

# 白川町新生児聴覚検査費助成について

…赤ちゃんの聞こえの検査について…



赤ちゃんは、生まれたときから、ご両親の声や周りの音を聞いて、言葉を覚え、その意味を理解して成長していきます。しかし、生まれつき耳の聞こえに障害があるお子さんが、1,000人に1～2人生まれると言われていています。

聴覚障害は、赤ちゃんのうちに発見し、適切な支援をすることによって、成長発達を促すことができるとされており、新生児期に行う聴覚検査の意義も大きくなっています。

白川町では、新生児聴覚検査費の助成を行っていますので、下記および別紙を良く読んで、希望される方は検査を受けてください。

また、検査を受けない方も、受けた方も「乳児の聴覚言語発達チェックリスト」（母子健康手帳に挟んであります）を利用し、お子さんの耳の聞こえに注意してあげてください。

**対象者** 白川町に住所のある保護者（母）から生まれたお子さん。一人1回まで。  
原則生後28日まで。事情がある場合は、生後6か月まで。

**助成額** 全額自己負担で受けた下記の聴覚検査に要した費用

《 初回検査、確認検査各々について 》

- 自動ABRでの検査 : 6,000円まで
- ◆OAEでの検査 : 3,000円まで

\* 検査料金と上記金額が少ない方の額を助成します。

\* 確認検査とは、初回検査で要再検となった場合に、同じ医療機関で行う検査です。  
\* 医療保険適用の場合は、該当外です。

## 手続き方法

### A【●県内の医療機関で自動ABRの検査を受けた場合】

- ①検査機関に「新生児聴覚スクリーニング検査同意書兼検査申込書」「新生児聴覚スクリーニング検査結果票」（医療機関にあります）を提出する。
- ②検査を受け、結果説明を受ける。
- ③検査費用を検査機関に支払う。結果票と領収書をもらう。
- ④町の保健福祉課に申請書、結果票（写）、聴覚検査の表示がある領収書（費用全額の領収書のみ発行の場合は、受付等で聴覚検査の単価を記入してもらう、診療明細書に明記されている場合はそれを添付する）を提出する。

※医療機関から結果票が発行されなかった場合は、保健係にお問い合わせください。

### B【県外医療機関で自動ABR、OAEの検査を受けた場合】

- ①検査を受け、結果説明を受ける。
- ②検査費用を検査機関に支払う。領収書をもらう。（「聴覚検査」の表示があるもの）
- ③町の保健福祉課に申請書、結果票（岐阜県委託医療機関外用）、聴覚検査の表示がある領収書（費用全額の領収書のみ発行の場合は、受付等で聴覚検査の単価を記入してもらう、診療明細書に明記されている場合はそれを添付する）を提出する。

\* 生まれた病院以外でも、外来聴覚検査実施医療機関で検査を受けられます。（詳細は保健係へお問い合わせください。）

## Q1 新生児聴覚検査とはどんな検査ですか？

検査の方法は2種類あります。どちらの方法も赤ちゃんが自然に眠っている数分間に安全に行える検査です。赤ちゃんは、痛みを感じませんし副作用もありません。また、薬も使いません。

### ① 自動聴性脳幹反応（自動ABR）

赤ちゃんの頭にヘッドホンのような専用の器具を貼りつけて、ささやき声くらいの小さな音を聞かせて、音が聞こえたときに出る脳波の一種を検査する方法です。

### ② 耳音響放射（OAE）

赤ちゃんの耳にイヤホンを入れて、ささやき声くらいの小さな音を聞かせ、耳の中から反射してくる音を測定する検査です。

## Q2 検査の結果はどのように出るのですか？

検査結果は、異常が認められなかった場合は「パス（pass）」、もう一度、検査が必要な場合は「要再検（refer）」のいずれかです。

## Q3 検査の結果が「要再検(refer)」だった時は、どうしたらいいのですか？

検査の結果が「要再検（refer）」であっても、直ちに耳のきこえが悪いことを意味するものではありません。

生まれたばかりの赤ちゃんは、耳のきこえが正常でも耳の中に液体が残っていたり、泣いたり、動きすぎたりすると、聴覚検査にパスしないことがあります。

初回検査が「要再検」の場合、同じ医療機関で日時を改めて検査をします。（確認検査）

さらに、詳しい検査を受けていただく際は、医師から精密検査医療機関の紹介がありますので受診してください。

また、保健所、白川町保健師も相談や家庭訪問等に応じますので、お気軽にご相談ください。

## Q4 検査の結果が「パス(pass)」だったときは、耳のきこえの心配はしなくていいのですか？

「パス（pass）」の場合は、現時点で耳のきこえに異常はありませんが、成長の過程でかかる病気などにより、あとになって耳のきこえが悪くなる場合もあります。

また検査機器の精度等の理由で、まれに発見されない場合もありますので、今後も「乳児の聴覚言語発達チェックリスト」（母子健康手帳に挟んであります。）を参考に、赤ちゃんの耳の発達に注意してあげましょう。

心配なときは遠慮せず、かかりつけの医師（産科、小児科、耳鼻咽喉科）や保健師等にご相談ください。

## Q5 検査費用はいくらかかるのですか？ 助成はあるのですか？

検査費用は医療機関によって異なります。

白川町では、検査費用（ただし初回検査、確認検査各々自動ABRは6,000円まで、OAEは3,000円まで）の助成を行っています。

【問い合わせ先】

白川町役場 保健福祉課保健係 電話 72-2317（内線361・362）